

ここに注目！ **官民一体で施設整備・イベント拡充を図り、商店街のにぎわいを創出する。**



ポイント

商店街にある3つのアーケードを段階的に整備し、県都の玄関口にふさわしいシンボルロードの景観形成に寄与している。

また、平成22年には駅前通りアーケードを、平成25年にはサンロードアーケードの照明をLED化するなど、環境に配慮したまちづくりにも取り組んでいる。

鳥取市が商店街に隣接する駅前太平線に整備した大屋根「バード・ハット」と芝生広場の維持管理と運営を当商店街が行っており、官民連携によるにぎわい創出に取り組んでいる。



バード・ハットでの子供ファッションショー

においては、いなばのお袋市、駅前情報板、生ゴミリサイクル事業、ユニークな駅前マップなど新しい企画に挑戦し続けている。

来街利便性施設の整備としては、休憩交流スペース及び公共トイレの整備。また、空き店舗活用による不足業種店舗の誘導を実施した。

さらに、「いなばのお袋市」等アーケード空間を活用した既存イベントを充実させるとともに、バード・ハットでは年間を通じて連続大型イベントを開催した。

[商店街概要及び取組の背景]

商店街を取り巻く様々な課題

JR 鳥取駅前に広がる商圈人口約30万人の広域型商店街で、昭和46年に振興組合として法人化した。

メロディアンロード等の街区の環境整備や各種イベント等のソフト事業による商店街活性化に取り組んできた。

しかし、当商店街区の通行量は過去5年間において減少傾向にあり、合せて空き店舗数も増加している。

平成23年に地域住民及び来街者にアンケート調査を実施したところ、アーケードや通りの安全安心の確保、休憩スペースやトイレの不足、商店街の業種不足、イベントの拡充や賑わいづくりの必要性が挙げられた。

[取組の概要・効果]

Plan・Do

施設整備とイベント拡充

安全安心面では、駅前通りアーケード、サンロードアーケードの改修事業、鳥取市との連携による駅前太平線バード・ハットの整備運営、アーケードの全照明LED化、防犯カメラの設置等を実施した。同時にソフト事業

[効果の評価と改善策の実施等]

Check・Action

不足業種を誘導し、集客数向上へ

3つのアーケードを改修することにより、商店街の開放感や明るさを確保するとともに、バード・ハット整備により、周辺店舗のファサード整備を誘発した。

また、AEDや防犯カメラの設置により、来街者の安全安心を確保できた。

さらに、バード・ハットイベントを官民一体の取組で企画運営し、オープンから4カ月間で来場者数は69,270人にのぼった。

これらの取組により、街区で減少しており不足業種である物販店等を4店誘導し、集客数向上と共に回遊性、滞留性の増加を図った。

[実施体制]

商店街活動を支える推進体制の構築

新鳥取駅前地区商店街では、①組織運営の舵取りをする「理事会」の月例会議 ②個別事業の具体的推進を図る「総務企画・情報文化・商業ふれあい・街づくり・ファーストレディ(女性商業者育成)」の5委員会の事業に合わせた推進会議 ③個別プロジェクトでの事業検討委員会の3つの活性化推進体制を構築している。

また、鳥取県、鳥取市をはじめ鳥取商工会議所、鳥取県中小企業団体中央会、鳥取市中心市街地活性化協議会等の中間支援組織、さらに、中小企業基盤整備機構の専門家派遣等による専門家・アドバイザーを有効に活用した事業の推進体制を適宜適切に構築し、フレキシブルな商店街活動を精力的に展開している。

基本データ

所在地：鳥取県鳥取市今町

会員数：85名

店舗数：69店舗

関連URL：<http://www.eki.or.jp/>



ゆるキャラパレード



キーパーソン

新鳥取駅前地区商店街振興組合
理事長 英 義人

事務局体制を強固なものに

例にもれず、全国の商店街振興組合、いやあらゆる団体組織において会員の帰属意識は衰退し、弱体化しているのが現状であります。もちろん組合員全体が一致団結して各種事業に関わっていくことは当然なことなのですが、それを待っていると、このめまぐるしい商業環境の中で取り残されてしまうのは火を見るより明らかです。

その中で当組合においては、まず事務局体制を強固なものにし、イベント担当を専属とすることでスムーズな運営が可能となるよう心掛けました。私自身も『よきに計らえ』論ではなく、イベント、にぎわい活性化に関わるすべての委員会に百パーセント出席することで士気を高めたつもりです。紆余曲折はありましたが、その効果もあり皆が期待以上に動いてくれたことに大きな達成感を覚えております。

駅前タウン構想の確実な実現

戦国時代の毛利家の家訓に『三本の矢は折れない』という言葉があります。当駅前商店街はまさに駅前通り、サンロード、太平線通りと三本の通りから構成されており、この五年間の活性化事業の中で新築、あるいはリニューアルにより大きく変貌致しました。私たちはこの三本の通りを軸に、単なるストリートではなく面としての回遊性をもたらす駅前タウン構想を確実に実現していく使命があります。その中でも核となるバード・ハットは、官民一体となって取り組んできた要の事業であります。この広場のコンセプト『市民みんなの発表の舞台』が示すように、たくさんの皆さまに活用して頂いております。また、道路専用許可特例を活用し、芝生広場にテーブルや椅子を設置することで、市民が休憩できる「くつろぎのふれあい空間」の形成を目指します。

組合員一丸となった取組で新しい駅前を発信し、街を変えていきたいと思っております！